

# 中学校休日部活動の地域移行について

海津市教育委員会 スポーツ課

## 1. はじめに

令和2年9月1日スポーツ庁及び文化庁より、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示され、休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）を行うこととなりました。部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきていますが、休日を含め長時間勤務の要因となっており、指導経験のない教師にとっては多大な負担となっています。また生徒にとっても望ましい指導を受けられないなど、働き方改革を進める一方で生徒の望ましい活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備していく必要があります。早急に本市の地域団体、生徒に見合った組織づくり、体制への支援を模索していくこととなりました。

## 2. 海津市の現状

- ・市内に3つの中学校、（日新中学校、平田中学校、城南中学校）がありますが、共通して存在している部活動は、バスケ男子、卓球女子、ソフトテニス男子・女子、野球のみです。
- ・主なスポーツ団体については、体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、ボート、カヌー団体、トライアスロン団体、個人による有料のスポーツ指導（塾形式）等があります。
- ・総合型地域スポーツクラブは市内に2団体が活動していますが、休日に開催している教室は無く、部活動に入っている中学生が休日に総合型地域スポーツクラブに加入したいというニーズもほとんど無いのが現状です。しかし、これからは地域移行に向けてどのように企画していくかが課題となります。
- ・スポーツ少年団では、22団体のうち12団体がすでに中学生を受け入れています。

## 3. 講演会や会議の開催

令和2年9月、「一般社団法人スポーツリンク白川」へ講演会を依頼するにあたり、白川町へ訪問し、お互いの現状を確認しました。同年11月15日（日）には、テーマを休日部活動の地域移行に絞って講演会を開催し、先進地の成功事例の紹介を市内スポーツ団体及び、地域の指導者向けに行いました。参加者からもたくさんの質問があり、地域移行について皆で考える良いきっかけとなりました。

また、講演会の開催案内と同時に同年12月4日（金）に予定していた説明会の案内状を市内スポーツ団体に送り、「中学校部活動から地域クラブへの移行について」をテーマに、本市の対応としてどうしていくのかを探ることを目的に会議を開催しました。本市の現状を知り、課題を洗い出していくこととし、公益財団法人岐阜県スポーツ協会にもご協力いただき、ワークショップを行い、参加者からいろいろな意見をいただくことができました。



「一般社団法人スポーツリンク白川」講演会の様子

#### 4. 課題の洗い出し

参加者アンケートやワークショップの発表内容から課題を洗い出しました。

##### ○ワークショップの主な発表内容について（抜粋）

- ・強くしたいのか、楽しませたいのか。
- ・スポ少経験者と中学校からの初心者をどう指導していくか。
- ・親は強くしたい、子どもはワイワイしたい、どっちをとるのか。
- ・学校とクラブの指導方針が一定しないと中学生が迷う。
- ・勝ちたい子、楽しみたい子との差を調整する組織があるとよい。
- ・保護者の負担、経済的な課題がある。
- ・どこがリーダーシップをとり、どこが活動の責任とるのか。
- ・指導者育成、確保。

##### ○会議参加者アンケートによる課題のキーワード集計

- ・指導者の確保や育成、謝金の額など「指導者に関すること」（20件）
- ・保護者の理解など「保護者に関すること」（8件）
- ・種目別、地域ごとなど「話し合いや情報共有に関すること」（7件）
- ・子どもの確保、子どもの思い、少子化など「子どもに関すること」（6件）
- ・中体連など「試合、大会に関すること」（5件）
- ・総合型地域スポーツクラブを母体とするなど「運営母体に関すること」（3件）

その他、「活動時間調整」や「同じ種目でも道具が違う」、「強くなりたい子と楽しくやりたい子の温度差」などがありました。



ワークショップの様子

#### 5. おわりに

本市は来年度1年間を準備期間として、令和4年度からの地域による休日部活動の受け入れを目指しています。

現在、競技種目の代表者にアンケートをお願いしているところであり、さらに課題を洗い出し、今後どのように進めていくのかを検討し、令和3年7月までに受け入れ先を特定し、同年8月には保護者への説明ができるよう事務を進めているところです。将来的には、総合型地域スポーツクラブや法人格の団体が管理運営する中で、市内スポーツ団体が活動し、その中で中学生の活動も受け入れる形が理想ですが、本市ではまだまだ決まった方向性がありません。関係各所の協力を得ながら、課題を順次解決していき、並行して地域移行について一緒に考え、実現していく人材も発掘・育成していかなければなりません。

また、すべての競技種目、文化事業などを本市だけで対応することは難しく、各市町村の特性を生かした広域的な連携が必要になってくると思われます。

その際は、ご指導・ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。